

基本構想審査特別委員会 Q & A



第5期幕別町総合計画基本構想審査特別委員会が、12月17日、18日の2日間開催され、平成20年度を初年度とし、平成29年度までの10年間のまちづくりの指針となる長期計画について活発な質疑応答がありました。主な質疑を要約し掲載します。

質疑の主な内容

【基本構想】

第4期総合計画の総括を

Q 第5期総合計画を策定するにあたり、第4期総合計画の総括を行う必要があるのでは。

A 第5期総合計画を策定するにあたり、各課に対し、分野別シートを配布し、第4期総合計画の達成度合を精査した。

人口推計について

Q 計画策定の基礎は人口推計である。人口推計の根拠と目標達成のための施策は。

A 平成17年の国勢調査や住民基本台帳の人口の推移に基づき、幕別町の人口推計に最適な、コーホート法を用い、各種施策を考慮し推計した。

目標達成のための施策は、

一つの施策では達成できない。色々な施策を用いなければならず、企業誘致や子育て支援、移住施策など、各種施策が必要になると考える。

【基本計画】

十勝一市構想について

Q 町村会などで、十勝一市に向けた話し合いが行われたと聞く。町長の見解は。

A 幕別町を除いた町村が検討したいといっている。幕別町としては、合併した町として、これから新しい町づくりを進めていくときに、また、合併協議を進めることは住民に対し説明できない。町村会の一員として、会議に参加しているが、実質的な協議はほとんど無い。現在、副町長会に委ねて検討しており、その後、帯広市と協議する。

広報広聴活動の充実を

Q 広報広聴活動の充実について、町長と住民の方の対話の機会の拡充が、この計画では無くなっているが、その経緯について伺う。

A 計画の中で表現の仕方が具体的過ぎており、他の施策とのバランスが取れていないこと、出前講座や住民懇談会の中に含まれると考え、文言を削った。

住民参加の環境を

Q 住民の声を町政に反映させるために、各種審議会において住民参加機会の拡充をどのように進めていくのか伺う。

A 付属機関の委員の公募は、定員の3割を目標にしている。資料の事前配布や、会議の開催時間など、参加しやすい環境づくりに配慮したい。

行政評価システムについて

Q 前回の計画の中にもあった行政評価システムの導入について、今回の計画まで延びた背景は。

A 行政評価システムを検討する際、合併問題を優先したことで、町村で取り組んでいるところが少なく、先進事例において、効果の見極めができていないなどにより延びたが、重要な施策として、引き続き取り組むものとした。

情報基盤の整備について

Q インターネットなどの情報機器はとても便利で、欠かせないものとなっているが、所得格差が広がる中、

12月17日～18日(2日間)

第5期幕別町総合計画



パソコンやインターネット環境を整えることができない家庭もある。それらの家庭に対する対応をどのように考えているのか伺う。

▲公共施設等にあるキヨスク端末を利用してほしい。

農業の将来について

Qこれから10年間の幕別町農業はどのように変化していくのか、その見通しをどのようにこの計画に載せているのか伺う。

▲農業を取り巻く環境は非常に厳しいと認識した上で、この計画を策定している。

林業の推進について

Q町全体の3割を占める森林について、面積の維持や確保をどのように考えているのか伺う。

▲森林は、林産物の供給だけでなく、二酸化炭素の吸収など多面的機能があり、町有林、民有林を保全していくことは大事と考える。

就業人口増加対策は

Q高齢者が増える中、就業人口増加のための対策、調査について伺う。

▲町だけで制度的なものを改革することは難しい。関係機関とも連携し、実態調査など行い、より良い労働環境が作れるよう努力したい。

火葬場の整備について

Q忠類地区では大樹町にある火葬場を利用しているが、老朽化が心配される。火葬場の将来について、幕別地区にある火葬場も含めて、見通しはどのようになっているのか伺う。

▲幕別地区の火葬場は、今後機械設備の整備や内装の改装などを検討しているが今後10年間では建て替える予定はない。

忠類地区の火葬場は、南十勝複合事務組合で運営しているが、幕別地区の火葬場同様、建て替えの予定は無い。

高齢者の活動支援について

Qその地域によっては老人クラブの無い地域もある。

そういった地域への対策について伺う。

▲老人クラブの無い地域については、老人クラブ連合会の役員や関係公区の方々と相談し対応したい。

文化財について

Q町内にある、高度な技術で建てられた建物などを文化財として発掘し活用してはどうか。

▲現在、幕別地域で歴史的な場所などを紹介している歴史の散歩道を、忠類地域に拡大して広く紹介し、ふるさと館の事業等でも活用することを計画している。

消防の広域化について

Q十勝全体で消防の広域化が進められていると聞く。現状と取り組みについて伺う。

▲道からは正式に示されていないが、十勝を一つとした圏域として示された段階である。消防の広域化については、消防無線のデジタル化を念頭に話し合いが行われている。

食育の推進について

Q間食、偏食、個食、朝抜など食生活の乱れは学力、体力、気力の低下につながる。学校教育の中で食育に努めるべきと思うが、どのように考えているのか伺う。

▲食育は大変重要である。給食センターでは、毎月発行している給食だよりの中でも、朝食の大切さをお知らせしている。引き続き取り組みたい。

就学支援について

Q高校生等への就学支援策について、今後どのように考えているのか伺う。

▲高校生等への経済支援として、奨学金を支給している。今後も、財政状況を見ながら続けていく。周知についても機会を捉えお知らせしていく。

新エネルギーについて

Qバイオマスエネルギーなどの新エネルギーの町の積極的な取り組みについて伺う。

▲BDF燃料の導入など、積極的に取り組んでみたい。